

かしま 議会だより

第113号

令和5年3月定例会号

令和5年5月発行

発行／鹿島市議会 編集／議会だより編集委員会

〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



満開の桜の下でまつりを楽しむ観光客（3月26日・鹿島酒蔵ツーリズム）

3月定例会	P2～P3
議案審議	P4～P5
一般質問(12名)	P6～P12
新年度予算審査特別委員会審査報告	P12
意見書	P13
公共交通対策特別委員会活動報告	P14
まちづくり対策特別委員会活動報告	P15
議会あれこれ/議長交際費	P16



鹿島市のホームページもご覧ください。

鹿島市議会

検索

鹿島市議会
令和5年3月定例会 会期日程

1、会期
自 令和5年2月21日
至 令和5年3月23日

2、日程

【2月】

21日 開会

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・議案の一括上程

22日 休会(議案研究)

(市長の提案理由説明)

(発言内容通告締切)

23日 休会

24日 休会(議案研究)

25日 休会

26日 休会

27日 休会(議案研究)

28日 議案審議、質疑、討論、採決

【3月】

1日 休会(議案整理)

2日 議案審議、質疑、委員会付託

3日 常任委員会(議案審査)

4日 休会

5日 休会

6日 休会(議案研究)

7日 新年度予算審査特別委員会

(開会、総務部)

8日 新年度予算審査特別委員会

(建設環境部)

9日 新年度予算審査特別委員会

(産業部)

10日 新年度予算審査特別委員会

(教育委員会ほか)

11日 休会

12日 休会

13日 新年度予算審査特別委員会

(市民部、審査、討論、採決)

14日 一般質問(3名)

15日 休会(議案整理)

16日 一般質問(3名)

17日 休会(議案整理)

18日 休会

19日 休会

20日 一般質問(3名)

21日 休会

22日 一般質問(3名)

23日 委員会報告

・議案審議、質疑、討論、採決

閉会

次のことを審議し決定しました

【令和5年3月定例会】

議案番号	議案内容	西一郎	宮崎幸宏	笠継健吾	中村日出代	池田廣志	杉原元博	樋口作二	中村和典	中村一堯	勝屋弘貞	伊東茂	徳村博紀	福井正	松尾征子	松田義太	角田一美	採決結果	
議案第1号	令和5年度鹿島市一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第2号	令和5年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第3号	令和5年度鹿島市後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第4号	令和5年度鹿島市給与管理特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第5号	令和5年度鹿島市水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第6号	令和5年度鹿島市下水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	賛成多数	可決
議案第7号	鹿島市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第8号	鹿島市民文化ホール条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第9号	鹿島市ふるさと資料館条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第10号	鹿島市の自然環境等と太陽光発電事業との調和に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第11号	こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第12号	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令及び民法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第13号	鹿島市特別職の職員で非常勤のものの報酬並びに費用弁償支給条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第14号	鹿島市重度心身障害者の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第15号	鹿島市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第16号	鹿島市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第17号	令和4年度鹿島市一般会計補正予算(第8号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第18号	令和4年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第19号	令和4年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第20号	令和4年度鹿島市下水道事業会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第21号	令和4年度鹿島市一般会計補正予算(第9号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
議案第22号	鹿島市副市長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	同意
議案第23号	鹿島市監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	同意
議案第24号	鹿島市農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	同意
議員提案第1号	鹿島市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決
意見書第1号	有明海再生に係る諸問題について解決を図るよう求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	賛成全員	可決

○・・・賛成 ×・・・反対 退・・・退席 欠・・・欠席 ※・・・監査委員のため審議に参加できない

議案案審議

議案第1号

令和5年度鹿島市一般会計予算について



伊東 茂議員

質問 新年度予算は総額155億9000万円で編成されている。定住促進・子育て支援・交流人口拡大を重点

施策と考へ編成したと説明を受けたが、昨年の市長選挙での公約が反映された予算配分なのか疑問を感じる。本市の財政の厳しさは理解しているが、市民が希望の持てる予算措置を期待していた。市長の予算編成についての考へを問う。

議案第15号 鹿島市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について



勝屋 弘貞議員

質問 法改正に伴い出産育児一時金の額が80,000円増額され、488,000円に引き上げられるということだが、国

保税未納者に対しても全額支払われるという認識でよいか。 答弁 国保税との相殺というところもあるのかとの質問だと思ふ。 質問二 勤務課から相談があるかもしれないが、基本的に出産するための費用となるので、保険健康課としては全額を被保険者の



議案第16号

鹿島市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について



松尾 征子議員

質問 消防団員に出勤手当が出されるようになることはよかったと思う。以前から出勤手当を出

すよう要求していた。出せない理由の一つとして「出勤者の把握ができない」ということだった。その解決はできたのか。どのようにされるのか。 答弁 現場で活動にあたる人の把握は難しいと思うが、今回現場で防衛活動にあたった団員に出す

議案第17号

令和4年度鹿島市一般会計補正予算(第8号)について



中村日出代議員

障害者福祉事業(支援相談員) 質問一 障害者の支援相談員は何人か。 答弁 三名。

質問二 一名で何人の相談者を持つているのか。 答弁 約50人の相談を受けている。 質問三 DVの相談員は何名か。 答弁 一名。 質問四 相談員があまりにも少な過ぎて、相談者の相談に対応できていないのではないかと。相談員

議案第17号

令和4年度鹿島市一般会計補正予算(第8号)について



徳村 博紀議員

質問一 ふるさと納税でガバメントクラウドファンディングの幸猫プロジェクト135万5千円とあるが、どのような事業

を行うのか。 答弁 飼いのいない猫の避妊去勢手術や捕獲等を行い、捕獲費用・餌代・捕獲器費用などの補助を行っている事業である。 質問二 私には命を処分するという考へ方や言葉遣いが受け入れがたいこととであり、殺処分などあ

議案第17号

令和4年度鹿島市一般会計補正予算(第8号)について



樋口 作二議員

農業経営高度化促進事業について 質問一 中山間地での基盤整備促進事業による農

地の利用集積を支援する補助金と示されているが、具体的にどのような支援なのか。 答弁 西塩屋・音成地区の基盤整備事業において、担い手及び農地の集約化が目標を達成したことによる補助金である。 質問二 基盤整備事業は

新年度予算審議 討論

賛成討論

伊東 茂議員

一般会計新年度予算は155億9000万円で編成されている。歳入(主要一般財源)については普通交

福井 正議員 令和5年度予算案に対して、議案第1号から第6号まですべての議案に賛成する。 議案第1号一般会計予算案には総額歳入歳出それぞれ155億9000万円。新たな事業に取り組みバランスの取れた予算である。 5年度一般会計予算案で特徴ある施策はDXに取り組まれること。DXは人工知能などのデジタル機器を使うことで事務作業の自動化を図り、人を窓口業務や福祉の現場などに配置でき、住民サービス向上につながる施策だと思ふ。子どもの医療費助成の充実、海苔などの不作で苦しんでおられる漁業者に対する漁業被害対策特別貸付金利子補給、長年苦しんでおられた母ヶ浦川水系流域治水対策、将来の教育環境向上の

反対討論

市民の暮らし守れない

松尾 征子議員

物価高は市民の暮らしを直撃している。国が教育・福祉等暮らしを守らなければならぬ。しかし国は軍拡に走り、農業・中小企業・福祉予算は軒並み圧縮。 市民の暮らしを守るためには市が独自で取り組むこと。今年度の予算は市民が期待できるものではない。今年もまた活動費丸抱えの補助金が計画されている。同和2団体6世帯8人に297万2千円の補助金。前市長の目玉政策だったスポーツ合宿も予算化されている。無駄なものはずかでも削り、市民の暮らしのために使うこと。

議案案審議

一般質問に12人が登壇しました

一般質問のYouTube動画配信!

3月14日、16日、20日、22日に行われた一般質問のYouTube動画を観ることができます。

[3月14日]



福井 正 議員
池田 廣志 議員
松尾 征子 議員

[3月16日]



杉原 元博 議員
笠継 健吾 議員
中村 日出代 議員

[3月20日]



樋口 作二 議員
松田 義太 議員
勝屋 弘貞 議員

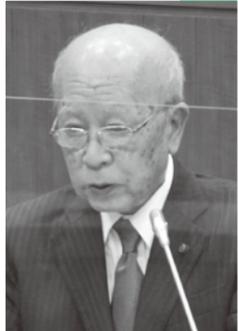
[3月22日]



中村 和典 議員
西 一郎 議員
宮崎 幸宏 議員

※議場では、新型コロナウイルス感染予防のためアクリル板を使用して質問、答弁をしています。

鹿島市への佐賀県立大学誘致について



福井 正 議員

鹿島市のこれからのあり方について

答弁 貧困者に交付される特別交付金は一定額の返済不要。貸付金は特例として所得にならず、課税されない。返済状況は一部を除き返済されている。

質問三 現在、燃料、食料、電気代などが高騰し、市民生活に多大な影響がある。インフレ対策としての施策は、また、市職員の給与等についてどう考えているのか。

答弁 政府は物価高騰対策としてガソリン価格抑制や賃上げ推奨など行われている。鹿島市は一次産業支援として、畜産飼料への補助等に取り組んでいる。市職員等に関しては、県人事局が県内企業の実況を調査し、答申されるので、それに従う。県内企業等では賃上げ

を考えている企業が多いと聞いている。

質問四 市内に5ヶ所の子ども食堂がある。私は2か所視察した。子どもと親の皆さん対象の食堂と、地域全体を対象とした食堂だった。運営は寄付金や食品提供ボランティアの方の奉仕で成り立っていた。

今年度は最高50万円までの補助金があったが、次年度からどうなるのか。

答弁 国からの交付金であり、次年度の情報が無い。国に問い合わせる。

質問五 学童保育が次年度から民間委託となるが、市運営から変わることがあるのか。

答弁 現在の条件の変化はない。給与アップに関しては、他市町の状況等で変更がある可能性はあると思われる。



池田 廣志 議員

自然が豊かで、元氣溢れるまちづくりについて

皆が住みやすいと思ふまちづくりを

質問一 肥前鹿島駅に停車する「特急かささぎ」や普通列車が大幅減便され、JR利用者の不便さが増すなか、長崎方面に向かうのは普通列車のみで、乗り換えが多く、時間もかかる。また、上り、下りともに、昼間の列車が少なく、JR利用者が大変困っておられるが。

答弁 江北、白石、鹿島太良の関係者で協議会を作り、改善に向けてJRと協議を進めている。

質問二 鹿島市、太良町はJRでの高速移動の手段が奪われ、両地域の活力が低下することが懸念される。

鹿島・伊万里を結ぶ国道498号の高規格化とともに、長崎自動車道と交差する高架橋付近にス

また、長崎道と国道498号の交差点近辺へのスマートインターチェンジの新設は、本線直結型で、九州内に7箇所あり、全体事業費が40億円程度、自治体負担が20億円程度見込まれ、安全面での立地環境が厳しいが、県南西部エリアの広域ネットワークとしての利便性がよくなるので、新たな視

野で取り組む。

仕事があつて、安心して暮らせるまちづくりを

質問 国道207号バイパス沿線を開発し、雇用を創出し、人口減少・少子化対策として取り組むべきと思うが、いかがか。

また、長崎本線のガードが低くて救急車が通れないが。

また、緊急自動車の通行に支障があるガード等については、道順を考慮することで対応ができています。

また、緊急自動車の通行に支障があるガード等については、道順を考慮することで対応ができています。

困っている人を集中的に支援する



松尾 征子 議員

市民の暮らしを守る市政を

ることは認識している。

市の予算は令和5年度予算の中で民生費57億円、全体の37%。就任後高校生までの医療費無償化に取り組んだ。

市民の安心安全の子育て支援、子どもの国保税無償化、学校給食費無償化、75歳以上の医療費無償化、補聴器購入補助について、基本的に支援すべきかどうかということ。困っている人を集中して支援することと思う。本

当に大変な状況にあられる方からするのか、今後の支援については私の方から行っていきます。

市民の暮らしを守るために、子どもの国保税の無償化、学校給食費の無償化、75歳以上の医療費無償化など、福祉優先の取り組みをすること。

質問一 鹿島市の投票率は。答弁 昨年の県知事選挙39%、鹿島市議会議員選挙23年69%、27年67%、

投票率低下について

31年63%。

質問二 投票時間が繰り上げられた。低下につながるのでは。

答弁 繰り上げたのは①期日前投票が浸透してきた。②18時以降の投票が少なかった。③投票に従事される人の意見。今後とも回覧を回すなどして周知する。

意見 まもなく選挙。投票動員充分取り組んでもらいたい。





杉原 元博 議員

人生100年時代に向けた 安心と活力について

質問一 DX推進室が新たに設置されるが、その役割と市民への支援について尋ねる。

答弁 業務をデジタル化する事で職員が住民と向き合える時間を創出し、デジタルが苦手な高齢者や障がいのある方々へ支援をする。

質問二 健康維持や介護予防を促進し、高齢者が地域に貢献できる仕組みが求められる。

答弁 介護の担い手確保やボランティア参加を推進する目的として有効。杵藤管内全体の事業として実施されているので、制度の内容等について勉強させていただきたい。

質問三 認知症の人やその家族が安心して暮らせる共生社会の実現に向け、支援体制の充実が重要である。支援事業について伺う。

答弁 「認知症カフェ」と「認知症初期集中支援チーム」事業がある。また今年度からは個別相談等に特化した「びあカフェ」の開催も計画している。

質問四 歯の健康は健康長寿の為に重要。特定健診の中で歯科健診も実施するのか。

答弁 令和5年度も1回だけではあるが、特定健診との同一実施を予定している。

質問五 带状疱疹は80歳までに3人に1人が罹患するとされる。ワクチンの接種費用は高額なので助成をすべきだと思つた。

答弁 国で新たな定期接種の対象として検討されている。

質問六 日常の買い物などに對する支援について伺う。

答弁 七浦地区で実施されている買い物支援バスがある。

質問七 社協からの呼びかけにより地域からの相談もあるが、事業拡大には至っていない。

答弁 その他「ホームヘルプ事業」、「軽度生活援助事業」があり、一定の基準を満たす人が対象となる。



笠継 健吾 議員

地域活性化の 取り組みについて

県立大学の誘致について

質問 山口県知事が2月の県議会で令和10年度には開学したい、設置する場所を、早めに決定したいと表明、鹿島市として誘致の意欲度を伺いたい。

答弁 2月の県議会でも基本構想が可決され、これから内容が検討される。

質問 他市の市町も多数が手を挙げており、鹿島も情報収集をキチンとし受け入れ体制も考える。県との関係性も重要である。

意見 鹿島にとって実現した場合、活気ある市へと大きく変化していく。この上もないものであり、設置を強く希望する。

新規工業団地の取組み、進捗状況について

質問 新規工業団地の取組み、進捗状況はどうか。

答弁 3カ所候補地を考慮している。

JR鹿島駅前 周辺整備について

質問 各工事の時期はどうか。新駅舎の外見について、市民の要望はどう伝えるか。

答弁 工事の具体的な時期は決まっていない。新駅舎は、市が作成した全

え、法規制の調査とかコロナ禍もあり、少し対応が滞った。雇用の創出から重要と考えている。県にも相談しながらやる。参考に、現在の工業団地の雇用者数は全体で980人である。

意見 工業団地の空きがなく、相当経過し取組み姿勢が弱いと思う。

現在の工業団地の企業さんの鹿島市への貢献度、税収、雇用者数等、非常に大きい。新工業団地の取組みは、すぐに行動を求め。

意見 鹿島市は森林も多く、整備が進まず、麓の道路まで被さっている。この制度により、森林の整備を麓まで行ってもらいたい。

森林環境譲与税について

質問 森林環境譲与税の内容と取組みはどうか。

答弁 来年より全国に住民税に上乗せする形で国税として1人千円徴収される。

鹿島市には来年度約1600万円譲与税として入る予想をしている。この使い方は森林の整備等その関連である。



中村 日出代 議員

給食センターの改修について

質問一 給食センターは築何年か。

答弁 40年以上経過してしている施設もある。

質問二 法律で定められている施設の点検結果と実施把握状況は。

答弁 7点指摘があった。調理場のドライシステム（床を乾かした状態）運用ができていない。調理室側取り出し口が職員出入り口と共用構造となったおり、二次感染の恐れがある。

また調理場全体を冷やせない構造となっており、夏場の調理員等の作業環境が改善されていないなど。

質問三 今後、施設設備の改善をどのようにしていくのか、市長の答弁を。答弁 老朽化の進んでいる給食センターの速やかな整備計画の策定に取り組む。

意見 子どもたちに安全で安心な食事の提供をお願いする。また、調理員の方々の調理環境の改善を要請する。

有明海海洋環境 影響調査事業について

質問一 本事業の内容は。

答弁 肥前鹿島干潟は、平成27年にラムサール条約湿地に登録された。干潟を含めた本海域の詳細な水質・生物の分布の調査研究が少なく、十分に分かっていない。

科学的データを得るための海洋環境調査を行っている。

質問二 把握した特性は。答弁 全体として多様性が乏しい海域。冬季に海苔の色落ち被害をもたらすケイ藻赤潮が高濃度になる傾向がある。今年度は干潟生物調査・濁踏みによる還元化



鹿島市立学校給食センター

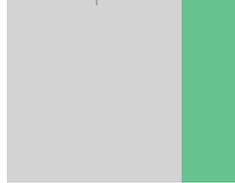
防止作用や濁花への好影響作用調査を行っている。

質問三 ドローンによる海洋調査方法は。

答弁 ドローンを用いて海域を飛行し、ケイ藻赤潮の値を計測し、赤潮の発生を予測する。

意見 漁船の経費削減、二酸化炭素排出量の削減が期待されるとの答弁があった。

早期の赤潮予兆システムの開発を期待する。



笠継 健吾 議員

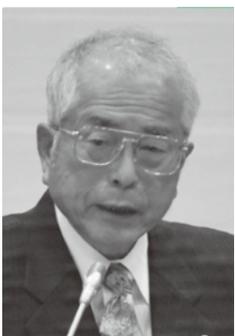
地域活性化の 取り組みについて

中山間地振興について

質問 地方交付税の減額であるが、自ら努力して必要経費を生み出すことも重要である。地方自治の在り方については県や九州、全国の市長会で提言していきたい。

質問三 鹿島市の中で人口の偏りについてどう思つか。

答弁 人口の5割が鹿島



樋口 作二 議員

現代社会と 鹿島市の課題について

地域の特色を生かした鹿島市の豊かな未来について

質問一 変動する世界の民主主義や現代社会をどうとらえているか。

答弁 世界情勢に不安を感じているが、市民の安全を守るため、経済対策をしっかりと行い、県・国と連携して不安を解消していく。

質問二 地方都市・鹿島市の置かれている現状をどうとらえているか。

答弁 地方交付税の減額等で財政的に厳しい状況であるが、自ら努力して必要経費を生み出すことも重要である。地方自治の在り方については県や九州、全国の市長会で提言していきたい。

質問三 鹿島市の中で人口の偏りについてどう思つか。

答弁 人口の5割が鹿島

地区に集中しているが、過疎地域は買い物支援やデマンド型の交通機関を整備して支援していきたい。

質問四 学力向上と若者の故郷離れの関連についてどう考えられているか。

答弁 若者の進路は、最終的には本人の希望であるが、学校ではふるさと教育を推進し、鹿島市の良さを伝えていきたい。

中山間地振興について

質問一 世界的な食料不足や食への安全性などから小規模・家族農業が注目されているが、それを担う中山間地振興についてどう考えられているか。

答弁 現在の農業支援は、圃場整備、888億円園芸推進、農地中間管理機構事業など大規模な取り組みが多いが、地域の景

観や魅力、農家民泊など小規模な農業への取り組みも増えてきた。鹿島市の農家1083戸のうち373戸が自給的農家で、むつころう堆肥の利用など環境保存型農業に取り組む方も多いため、産産部全体で支援していきたい。

質問二 宝の海有明海の再生についてはどう考えられているか。

答弁 海苔をはじめ様々な魚介類が少なくなっているが、道の駅や海道の活用して加工品の販売に力を入れるとともに、有明海体験事業による活性化にも努めていきたい。



デコボンと有明海



松田 義太 議員

鹿島市が直面する政策課題について

西九州新幹線開業後の長崎本線の課題について

質問一 昨年9月23日の西九州新幹線の開業に伴い、特急の大幅な減便により利便性は大きく低下し、地域イメージの低下にもつながり鹿島市を取り巻く環境は一層厳しくなっている。

回答 定期券補助は、現在検討していないが、通勤通学の利用状況を分析し今後の対応を検討したい。

質問二 武雄市等が行われている通勤通学の定期券補助は、鹿島市でも検討されているのか。特に長崎方面への利便性低下は著しく、定住移住の観点からも具体的な検討をお願いしたい。

回答 担当課においても地元協議を行い、計画的な維持管理に努めている。排水機場従事者の待遇改善について再度検討したい。

質問三 各部長及び教育次長に、新年度の重点事業・施策を問う。

農業水利施設の維持管理について

質問 近年の水災害において、農業水利施設の役割が非常に重要になっている。

回答 今後の連携を密にし、対策を講じていきたい。



中村 和典 議員

新年度予算編成について

質問一 市長就任後初めての新年度予算編成にあたって、何を指針とされたのか。

回答 選挙公約や市長と語る会等での意見をもとに福祉・教育を中心とした市民サービスの充実・イノベーションの推進、有明海再生・中小企業等の産業の支援・ゼロカーボンシティ・DXの推進等を中心として予算を編成した。

質問二 重点施策として取り入れた選択肢の基準は。

回答 国や県との連携・若い人達の考えを取り入れる・男女共同参画社会の推進等を重要課題とした。

質問三 各部長及び教育次長に、新年度の重点事業・施策を問う。

回答 産業界では、ノリ養殖業の再建として、融資を受ける漁業者に対し、貸付の日から5年間、県と市で利子補給を行う。建設環境部では、母ヶ浦川水系流域の浸水対策について、県と一緒に検討を行う。

市長が考える行財政運営のポイントとは

質問一 市債（借入金）残高が、令和5年度末に



勝屋 弘貞 議員

鹿島市におけるシティプロモーション(CP)について

質問一 市長には、鹿島の顔としてトップセールスをする者として粉骨砕身の頑張りを期待する。

回答 CPとは、認知度を上げる施策、地域の魅力を生み出すブランディングを通じ、その街が持つイメージを向上させ、移住・定住者や地域への往来者を増やし、地域の経済力の向上・活性化を図ること。

質問二 耐震化目標である2025年までの見通しは。

回答 目標達成はかなり厳しい。要因は新型コロナウイルス感染症に伴う経営状況の悪化により耐震改修どころではなかったこと、資材価格高騰に



西 一郎 議員

鹿島市耐震改修促進計画の進捗状況について

質問一 耐震性がない建物について。

回答 昭和55年以前の旧耐震基準で建てられた建物が対象。

質問二 耐震化目標である2025年までの見通しは。

回答 目標達成はかなり厳しい。要因は新型コロナウイルス感染症に伴う経営状況の悪化により耐震改修どころではなかったこと、資材価格高騰に

地域公共交通と交通DXについて

質問一 オンデマンド交通を導入する予定はあるのか。

回答 利便性の向上を図る為にもオンデマンド交通の必要性は感じている。今後は地元の交通事業者と官民連携して進める必要がある。現状ではオンデマンド交通を導入するには時間が必要と考えている。

高齢者運転支援について

質問 ペダル踏み間違い装置の購入設置支援の考えは。

回答 今のところ購入支援については検討していない。今後の近隣市町の状況に注視し必要ならば検討する。

意見書第1号 有明海再生に係る諸問題について解決を図るよう求める意見書

国が諫早湾干拓の潮受堤防排水門の開門を命じた確定判決の無効化を求めた請求異議訴訟で、本年3月1日最高裁第3小法廷が漁業者側の上告を棄却し、これをもって、漁業への悪影響は軽減したとして確定判決に基づく開門の強制執行は許さないとした二審・福岡高裁判決が確定した。

鹿島市議会はこれまでも、諫早湾干拓の潮受堤防排水門の開門調査をはじめ、有明海再生のため様々な施策を国に求め、意見書を採択してきたところである。

福岡高裁が「和解協議に関する考え方」を示し、協議を重ねて、国と漁業者が互いに歩み寄って紛争を解決するために努力することを求めたにもかかわらず、和解協議の席に着こうとしなかった国の主張が認められ、今回の最高裁の判断が出されたことについては、非常に残念である。有明海の再生のために、開門調査を含む有明海の環境変化の原因究明が必要だという我々の思いは、いささかも変わっていない。

近年、有明海佐賀県海域では赤潮の発生が相次ぎ、海苔の色落ち被害や生産枚数の減少などにより漁業者の経営状況は逼迫している。また、当市においては、アゲマキやサルボウなどの二枚貝も採れない状況が続いており、有明海再生に至っていない。このような状況の中、関係者が一体となって有明海再生に取り組む必要があり、国はこれら有明海再生に係る諸問題について真摯に対応し、解決していく責務があると考えます。

については、有明海が以前のような「宝の海」に戻ることができるよう、国は、関係する者の意見やその思いをくみ取り、早期に問題の解決を図るよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年3月23日

佐賀県鹿島市議会

- 衆議院議長 細田博之様
- 参議院議長 尾辻秀久様
- 内閣総理大臣 岸田文雄様
- 農林水産大臣 野村哲郎様
- 環境大臣 西村明宏様

以上のとおり意見書を提出する。

鹿島市の財政状況

質問 鹿島市の財政状況（財政指標、健全化判断比率）について。

答弁 現状、健全化判断基準範囲内であるが、近年の大型事業による起債残高や公債費の増加に伴い財政指標も徐々に上昇しており、決して余裕のある財政状況ではないため、「事業の選択と集中」、「自主財源の確保」等による持続可能な財政運営を図っていく。

県立大学の誘致

質問 鹿島市の県立大学の誘致構想について。

答弁 誘致要望にあたっては、「若者の地元定着のために、定住促進策としてふるさと教育に力を入れ、地元企業の説明会



宮崎 幸宏 議員

県立大学の誘致等の令和4年度の鹿島市のトピックス

も開催している」等をアピールポイントとしている。

意見 県立大学のキャンパスを県内の全域に配置する分校制とし、鹿島市に県西地区の分校として誘致することを提案する。

この県立大学分校が鹿島市を含む近隣市町の地元高校生卒業後の進学先となり、若い世代の人口流出を防ぐとともに、さらに県立大学卒業後もITや地域産業の専門技術と経営能力を習得しつつ、そのまま地元企業へ就職してもらえれば、鹿島市にとって人口増加や産業振興、地域活性化など多様な効果が得られることが期待できる。

令和4年度の鹿島市のトピックス

質問 長崎本線（江北～肥前鹿島）の利便性低下

（特急減便）に対する補完（対策）について。

答弁 9月23日のダイヤ改正後、特急は減便となったものの、江北駅での普通列車と特急列車の接続は比較的考慮されていることから、補完対策は現在行っていない。

意見 肥前鹿島駅から江北駅までの間の特急の代替公共交通として、駅間連絡バスの導入を提言する。バス運行方法は、定期路線バスではなく、江北駅の特急ダイヤに合わせて、利用客を募り、その利用客人数に相応したオンデマンド方式のバスを運行させ、さらにスマートフォンアプリやAIなどのデジタルを活用した移動サービスにより、効率的かつ経済的に運用することができると考える。

鹿島市議会
議長 角田一美様

新年度予算審査特別委員会
委員長 杉原元博

新年度予算審査特別委員会 審査報告書

令和5年3月2日の本会議において付託されました下記6議案については、3月7日、8日、9日、10日及び13日に質疑審査を行いました。

審査の結果は、下記全議案について、原案のとおり可決すべきものと決しました。以上、会議規則第98条の規定により報告します。

記

- ・議案第1号 令和5年度鹿島市一般会計予算について
- ・議案第2号 令和5年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について
- ・議案第3号 令和5年度鹿島市後期高齢者医療特別会計予算について
- ・議案第4号 令和5年度鹿島市給与管理特別会計予算について
- ・議案第5号 令和5年度鹿島市水道事業会計予算について
- ・議案第6号 令和5年度鹿島市下水道事業会計予算について

まちづくり対策特別委員会 活動報告書

任期4年中、前半の2年の報告は中間報告(令和3年3月議会分の議会だより参照)を行っておりますので、省かせて頂くことをご了承ください。

後半の2年はコロナ禍中ということで、視察等を含め対外的な交流を控え、庁内でJR肥前鹿島駅及び駅周辺整備関連について取り組んだ。

令和3年度7月、JR肥前鹿島駅整備構想(素案)をもとに担当部局である都市建設課と協議。県議会での県知事の演告において、鹿島市への振興支援が表明されたものの、基本計画にならないと具体的な費用の持ち分・配分がわからないこともあり、10月に構想発表予定を控えたここでは、構想のコンセプトに沿い、整備目標・推進体制スケジュール等の説明を受けた後、規模やロータリー・ゾーニングの確認など、市民の意見が反映された構想となるよう検討を行った。

令和4年度では「JR肥前鹿島駅周辺整備基本計画策定の進捗状況について」5月20日・6月9日に協議。尚、大きく関連するという事で公共交通対策特別委員会と合同にての開催となった。

これまでの経過、JR肥前鹿島駅周辺整備検討体制、JR肥前鹿島駅周辺デザイン検討会議の委員構成及び設置要綱、JR肥前鹿島駅周辺まちづくり会議の委員構成及び設置要綱、基本計画・基本設計の主なスケジュール、JR肥前鹿島駅周辺整備基本計画ワークショップ等の説明を聞いた後、協議に入り全体構想をもとにしての質問・意見を行った。

- 以下、主なものとして、
- 市の負担軽減について。
- 検討会議メンバーについて。
- 民間活力ゾーンについて。
- ロータリーについて。
- 駅舎デザインについて。
- 鹿島を感じられる駅舎とは。
- 駐車場について。
- 東口・南口について等。



整備が予定されているJR肥前鹿島駅前広場

昨年9月、西九州新幹線の暫定開業に伴い、長崎本線の経営が上下分離し特急電車の減便といった中、大規模な整備計画を行うことに関して市民の皆様からは多くの意見を頂戴している。今後本格的な工事・整備が始まるわけだが、JR肥前鹿島駅周辺開発がまちの交流循環拠点として、まちの賑わい創出の場としてしっかりと機能するよう、今後も議会においては継続して取り組んでいく。

まちづくり対策特別委員会
委員長 勝屋 弘貞

公共交通対策特別委員会 活動報告書

令和元年5月に結成された公共交通対策特別委員会は、鹿島市が抱える道路・鉄道・バス・タクシーなど公共交通のあり方と問題解決に取り組む委員会です。

4年間の活動が終了しましたので、これまでの活動を報告します。

まず協議会で年間計画を作りました。委員協議会は4年間で27回開催しています。

令和元年9月26日に、鹿島市内循環バス委員会委員で乗車体験。10月30日、11月22日、道路問題は国道498号線の「安全で走行性が高い道路」整備について議論。

12月19日、太良町議会の公共交通対策特別委員会と太良町議会で、長崎本線と地域公共交通について協議。

12月20日、嬉野・武雄市議会に伺って趣旨説明、要望書を県知事に提出することを報告。

12月20日、佐賀県庁を訪問し、鹿島市議会として「一般国道498号(鹿島～武雄間)の早期整備を求める」要望書を山口知事に提出。

令和2年1月21日、3月2日、3月24日、委員会行政視察を協議、新型コロナウイルス感染症のため断念。

令和2年9月15日、祐徳自動車バス事業の現状を意見交換。

10月19日、鹿島市企画財政課と地域公共交通について協議。

11月9日、再耕庵タクシーとタクシー事業の現状を意見交換。

12月18日、鹿島市議会12月定例会において、「公共交通維持のための財政支援を求める意見書(案)を可決。

令和3年1月25・28日、新幹線開業後の長崎本線の肥前浜駅までの電化の要望について協議、結果は電化に対して地元負担の可能性と費用対効果等協議し、今後も検討することとしました。

2月3日、佐賀県・長崎県・JR共同作業所訪問で意見交換する等に取り組みました。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症のため、他議会との意見交換などは行なえませんでした。公共交通対策特別委員協議会を延べ6回開催し、九州新幹線開業後の長崎本線の利便性等について協議しました。

令和4年11月14日に山口県美祢市、15日大分県白杵市を行政視察しました。美祢市も白杵市も地域公共交通に熱心に取り組まれており、美祢市は中山間地であり、観光地として秋吉台があります。地形的なこともあり、スクールバスの運行で小・中学校の生徒の送迎、病院の送迎車を使つての病院への送迎に取り組まれています。

白杵市は、海と中山間地であり、面積も広い地形でした。地域公共交通として循環バスを運行。山間地の方を途中の拠点まで送迎し、そこからデマンドタクシーで目的地に送迎するとのことでした。担当の方が熱心に取り組まれました。

公共交通対策特別委員会
委員長 福井 正

議会あれこれ (令和5年1月～3月)

1月

- 5日 議会だより編集会議
- 10日 議会だより編集会議
- 12日 議会報告会プロジェクト会議
- 18日 杵藤地区広域市町村圏組合議会1月臨時会
- 20日 臨時議会運営委員会
佐賀県市議会議長会
- 24日 全員協議会
公共交通対策特別委員協議会
国道498号整備促進期成会要望
- 31日 九州市議会議長会(～2月1日)

2月

- 6日 議会運営委員会
- 7日 佐賀県後期高齢者医療広域連合代表者会議
- 8日 全員協議会
- 9日 全国市議会議長会評議員会
- 13日 総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
- 14日 杵藤地区広域市町村圏組合議会事前勉強会
- 16日 佐賀県後期高齢者医療広域連合
議会運営委員会・本会議
鹿島・藤津地区衛生施設組合2月定例会
- 17日 議会運営委員会
- 20日 杵藤地区広域市町村圏組合2月定例会
- 21日 3月定例会 開会 議案の上程(～3月23日)
全員協議会
- 22日 文教厚生産業委員協議会
- 27日 県西部広域環境組合2月定例会
- 28日 3月定例会 議案審議 質疑、討論、採決
臨時議会運営委員会



令和4年度かしま議会だより編集委員会メンバー

3月

- 2日 3月定例会 議案審議 質疑、委員会付託
全員協議会
- 3日 総務建設環境委員会
文教厚生産業委員会
- 7日 新年度予算審査特別委員会(～13日)
- 8日 まちづくり対策特別委員協議会
- 10日 臨時議会運営委員会
- 13日 全員協議会
- 14日 3月定例会 一般質問(～22日)
- 16日 臨時議会運営委員会
- 22日 全員協議会
- 23日 3月定例会 委員会審査報告 議案審議
質疑 討論 採決 閉会
全員協議会
- 27日 杵藤広域市町村圏組合議会2月定例会
- 28日 議会だより編集会議

行政視察受入状況 (令和5年1月～3月)

- 1月17日 福島県白河市議会 市民産業常任委員会 4名
- 18日 北海道旭川市議会 自民党・市民会議 6名

議長交際費を公表します。

金額単位：円

区分	1月		2月		3月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰	0	0	0	0	0	0	0	0
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	0	0	0	0	0	0	0	0
会費	2	13,000	1	5,000	1	4,000	4	22,000
接遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	13,000	1	5,000	1	4,000	4	22,000

鹿島市議会活動報告書(平成31年4月～令和5年4月)を発行しました。鹿島市ホームページや各地区公民館に備え付けの冊子をご覧ください。



編集後記

市民の皆様にとってこの春の陽気のようには晴れやかな素晴らしい新年度となりますよう心よりお祈り申し上げます。いよいよ待望の新市民会館が完成いたします。市民の皆様との交流の拠点として、また市内外からも多くの方が訪れて下さいますようお願いしております。鹿島市の新たなシンボルとして皆様の期待も大きいかと思います。

新型コロナウイルス感染者も減少はじめ、ようやく元の状況に戻つつあります。まだまだ十分な対策が必要ではありますが、3年振りの酒蔵ツアーの開催、6月初めにはガタリンピックの開催も予定されています。徐々に観光資源が豊富な鹿島らしさを取り戻してきている事を大変嬉しく思います。

4年間の議員活動を終え改選となります。私達編集委員のメンバーも今回で交代となります。ご愛読いただき感謝申し上げます。大変にありがとうございました。

令和4年度 かしま議会だより編集委員会

- 委員長 杉原 元博
- 副委員長 福井 正
- 委員 西 一郎
- 委員 宮崎 幸宏
- 委員 笠継 健吾
- 顧問 松田 義太

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。